

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 水戸市立妻里小学校 担当教諭名 生田目 みつ子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成23年 2月 7日 (月) 10:15 ~ 13:00
対象学年と人数	2年生 35名 6年生 55名
派遣講師名と出身国	パンディ・ヘンプロバ (ネパール) 山形 正子(コーディネーター)
活動の内容	<ul style="list-style-type: none">・ パソコンを使った国の紹介とクイズ・ 簡単な母国語でのあいさつと練習「こんにちは」「ありがとう」「さようなら」・ 民族衣装の説明や着付け体験とヨガ体験(6年生)・ 給食を食べながら、学校で習った英語を使つての質問
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 講師は日本語が上手で、説明も面白く、ダンスにヨガに民族衣装の着付けと内容が豊富で自国のことを一生懸命伝え、児童の興味関心を高めることができました。
生徒・保護者等参加者の感想	民族衣装がとても色鮮やかでいろいろな縫い通りの飾りがついていて、ふわふわしていてきれいでした。また、1枚の長い布を折っていくうちにすてきな服になってしまい、びっくりしました。(児童) 民族舞踊が日本の踊りと違って、めずらしかったです。(児童) ヨガのいろいろなポーズをやってみると、落ち着く感じがしました。(児童) お話を聞いているうちにとても興味がわいてきたので、行ってみたなと思いました。(児童) 英語もペラペラ話せて、自分の国の言葉もできて、そのほかに何か国語も話せると聞いて、自分もそんな風になりたいと思いました。
先生の感想	2年生と6年生という学年の差がありましたが、それぞれの学年の児童の様子を見ながら話を進めてくださったので、だれも飽きることなく興味を持続されることができました。パソコンを使って写真を見せたり、クイズを出したり、展開が早く、こちらでお願いした内容でもメリハリがあり、充実した時間を過ごすことができました。また、児童の中に入ってどんどんコミュニケーションをとるので、今回は人数が多かったにも関わらず、一人一人がより近く講師に接することができる時間となりました。そのため、日本語が上手ですが、児童が日ごろ習っている英語を使ったことにも対応してくださいました。AETとの英語の会話では、児童は知ってという単語を聞きとろうと一生懸命な様子がみられ、国際理解と同時に日ごろの英会話活動への意欲も高めることもできました。

